

SDGs宣言に基づくロードマップ・重点行動計画表 (※策定日 2024年1月24日)

分類	基本方針	重点項目	KPI目標(2026年)	KGI目標(2030年)	行動計画				担当部署
					2023	2024	2025	2026	
教育	国際社会や地域の課題解決に資する実践的な教育を進め、SDGs達成に主体的に貢献できるグローバルエンジニアの育成を目指します。	グローバルPBLの推進	国内外におけるグローバルPBL参加学生数 (2026年度 1,200人とする)	国内外におけるグローバルPBL、参加学生数 (2030年度 1,700人とする)	・予定されているグローバルPBLを実施し、ノウハウを蓄積する。	・2以上の学科・課程で、グローバルPBLへ学生が基本的に参加する仕組みを作る。	・5以上の学科・課程で、グローバルPBLへ学生が基本的に参加する仕組みを作る。	・9以上の学科・課程で、グローバルPBLへ学生が基本的に参加する仕組みを作る。	国際部
		SDGsに関する共通教育・専門科目の設定	学際科目にSDGs及びダイバーシティ関連科目の配置 (2026年度までに4科目設置)	学際科目にSDGs及びダイバーシティ関連科目の配置 (2030年までに5科目設置)	・改組後のカリキュラム内容の検討	・改組後のカリキュラム内容の確定 ・各科目の内容確認	・SDGs及びダイバーシティ関連科目の開講確認及びシラバス等のチェック	・SDGs及びダイバーシティ関連科目の開講確認	大宮学事部 (改組準備室)
			学士課程/修士・博士課程の開講科目のシラバスでのSDGsの関連付け率 (100%)	学士課程/修士・博士課程の開講科目のシラバスでのSDGsの関連付け率 (100%) 継続	・現状把握 ・教員へのシラバス入力時の選択促進 ・専攻内でのシラバスチェック体制の確立 ・課内で共通科目のシラバスチェック体制の構築 ・未選択科目の洗い出しと選択依頼実施	・教員へのシラバス入力時の選択(見直し)促進 ・専攻内でのシラバスチェック体制の確立 ・課内で共通科目のシラバスチェック体制の構築 ・未選択科目の洗い出しと選択依頼実施	・教員へのシラバス入力時の選択(見直し)促進 ・専攻内でのシラバスチェック体制の確立 ・課内で共通科目のシラバスチェック体制の構築 ・未選択科目の洗い出しと選択依頼実施	・教員へのシラバス入力時の選択(見直し)促進 ・専攻内でのシラバスチェック体制の確立 ・課内で共通科目のシラバスチェック体制の構築 ・未選択科目の洗い出しと選択依頼実施	豊洲・大宮学事部 (学事課・学生課・大学院課)
		長期(一か月以上)インターンシップの実施 (海外・国内)	国内外における長期インターンシップ参加者数 (2026年度5名とする)	国内外における長期インターンシップ参加者数 (2030年度10名とする)	・国内外における長期インターンシップ参加者数:1名 業界研究などの進路に関するガイダンス・インターンシップの意義や重要性に関する説明会の実施	・国内外における長期インターンシップ参加者数:3名 業界研究などの進路に関するガイダンス・インターンシップの意義や重要性に関する説明会の実施	・国内外における長期インターンシップ参加者数:4名 業界研究などの進路に関するガイダンス・インターンシップの意義や重要性に関する説明会の実施	・国内外における長期インターンシップ参加者数:5名 業界研究などの進路に関するガイダンス・インターンシップの意義や重要性に関する説明会の実施	就職・キャリア支援部